

事務事業名	コード1	4300	コミュニティ育成事業	課	市民生活課		
	コード2	②	コミュニティ育成事業補助金(地区行事用備品購入) <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	所属班	市民生活支援班		
施策体系	基本方針	6	共につくる夢のあるまちづくり	電話番号	62-5396	内線	321
	施策	2	交流・地域活動の振興	予算科目	会計		
	施策の展開	1	地域住民の交流促進	根拠法令	コミュニティ助成事業実施要綱		
	基本事業	337	コミュニティ活動への助成	根拠法令	旭市補助金等交付規則		

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	宝くじの社会貢献広報事業として、要綱の定めにより、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援、地域の国際化の推進及び活力ある地域づくりに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。 ○一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成)祭用備品の購入費補助。【補助額 上限250万円(自治総合センターコミュニティ助成金)】 ○地区行事用備品購入事業 祭用備品の購入費補助。【補助額 事業費20万円以上1/2以内(上限50万円)】平成25年度まで 【業務の流れ】 市が認めるコミュニティ組織 前年度に、市は助成申請書を県を経由して自治総合センター理事長に提出 県ヒアリング 年度当初(4月頃)県より助成金の交付決定通知 → 交付決定通知に基づき助成区長へ補助金の交付申請の依頼通知 → 区長より交付申請書提出 → 市より区長に交付決定通知 → 区より実績報告書・請求書提出 → 実績の確認 → 広報誌への掲載 → 市より県へ実績報告書提出 旭市コミュニティ育成事業補助金 ①前年度各区へ翌年度の要望調査実施 ②当該年度事業開始前に各区長へ補助金の交付申請書の提出 ③補助金交付決定通知 ④実績報告書提出 ⑤交付確定通知 ⑥補助金の交付

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績) 単位:千円		
1.コミュニティ育成事業補助金	0	
2.一般コミュニティ助成事業	2,500	
3.地区行事用備品購入事業	180	
	0	
	0	
【前年度比増減理由】地区行事用備品購入事業1件実施【歳入】自治総合センターコミュニティ助成事業2,500千円		
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績) 単位:時間		
・地区団体の要望調査 10時間	・申請に係る書類作成 50時間	・県ヒアリング 10時間
・地域団体への交付申請依頼通知・交付決定通知・交付申請書受付 15時間	・地域団体より実績報告書・請求書の受付及び実績の確認 15時間	・広報誌への掲載 5時間
・市より県への実績報告書の提出 20時間	計	125時間

事業費	1.コミュニティ育成事業補助金	千円	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	2.一般コミュニティ助成事業	千円	2,500	2,500	2,500	2,500
人件費	3.地区行事用備品購入事業	千円			180	
	うち一般財源	千円			0	
事業費計(A)		千円	2,500	2,500	2,680	2,500
正規職員従事人数		人	0.06	0.06	0.06	0.06
延べ業務時間		時間	125	125	125	125
人件費計(B)		千円	475	475	475	475
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,975	2,975	3,155	2,975

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 瀬道区へ祭り用備品(長胴太鼓・太鼓四本柱台・附締太鼓等)購入の助成を行った。 26年度計画(26年度に計画している主な活動) 萩園区へ祭り用備品(長胴太鼓・附締太鼓・締太鼓台・四本柱代等)の新規購入の助成を行う。	ア 宝くじ助成事業実施(補助交付)団体数 イ 旭市コミュニティ育成事業地区行事用備品購入団体数 ウ	団体 団体	1 0	1 0	1 1	1 0
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	市内全地域の区	ア 地域団体数	区	156	155	155	155
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	祭り用備品等を購入することにより、地域コミュニティの活動の充実、強化が図れ、地域の活性化と住民福祉の向上が図れる。	ア 要望に対する事業実施率(事業実施(補助交付)地域団体数/事業実施要望団体数×100)	%	9.0	9.0	7.0	7.0
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	地域社会における住民のふれあい、及び快適なコミュニティ活動環境を確保できることにより、住民が地域連帯意識を持ち、地域活動等を活発に行うことができる。	ア 地域団体に所属する住民の地域活動等への出席率()	%	未把握	未把握	未把握	未把握
		イ 地域団体における世帯数の市内全世帯数に対する割合	%	70.7	69.5	70.0	70.0

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
住民が自主的なコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく意識を盛り上げることを目指し、コミュニティ活動に必要な部品等の整備に関する事業。	1年度に1事業の助成である。旭市においては申請すれば交付を受けられたが、これからは必ず交付を受けられるとは限らない。又、現在、旭市においても平成38年度まで要望がある状態である。	集会所の修繕費の他に、祭用具を購入するための予算を計上することはなかなか難しい中で、この助成を受けられ区の経費軽減につながっている。

事務事業名	コミュニティ育成事業 コミュニティ育成事業補助金(地区行事用備品購入)	課名	市民生活課	班名	市民生活支援班
-------	--	----	-------	----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒[理由]↘ 祭事用具等の備品購入への助成という形で地域行事を支援することで、コミュニティ意識の高揚が図られている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒[理由]↘ 市内全区を対象とし、申請に基づき、順番・緊急性・地域性等を考慮し決定しているため妥当である。意図についても、地域コミュニティ活動である祭りに必要な備品等の購入を助成する事業であり、地域コミュニティの活動の充実、強化が図れるため適切である。
有効性 評価	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由]↘ 財団法人 自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として助成されており、市町を経由して申請、決定を行うものである。市の総合計画においても、コミュニティ意識の高揚を図るため、祭り用備品等に助成することとしている。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由]↘ 要望に対する事業実施率は10%に満たない状況であるが、自治総合センターより申請は毎年1区のみとされているなかで、毎年1区の補助交付は実施できている。(平成38年度まで要望がある。)申請は、随時受け付けし、実施については、受付順、地域性、緊急性等を優先し、前回採択されてから20年以上経過した区としている。
効率性 評価	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したり、今以上成果は向上しない ⇒[理由]↘ 自治総合センターで、補助件数を増やさない限り成果の向上は難しい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒[理由]↘ 財団法人 自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として独自の事業であるため、他の事業との統廃合はできない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由]↘ この事業の助成金は、100万円～250万円まで。限度額250万円の100%の補助であり、残りの分については当該区が負担をするものであり、実質的な市の負担はなく、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由]↘ 交付申請・実績等に関しては、当該市を経由して行う必要があり、これ以上の削減は困難である。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒[理由]↘ 受益機会については、全区を対象に要望を受け、要望順に申請を行っており、公正・公平である。費用負担についても、費用の一部を区が負担しているため公平である。	

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	祭り用備品等を購入することにより、地域のコミュニティ活動の充実・地域の連帯感、福祉向上が図られる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
いつまでに 申請要望年度まで	なにを、どうするのか？ 県内市町村に対し、一団体の交付であるため、旭市においては、平成38年度まで要望がある。(財)自治総合センターの宝くじ助成事業であり、申請＝決定ではないため、今後も引き続き交付が受けられるよう、地域のニーズにあった交付申請をしたい。																					
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
平成38年度までの要望があるため、各年度助成が受けられるよう当該区と綿密に打合せ実施し申請する。																						